

て説明する。

(質疑)

Q：(読売新聞) アクシデントマネジメントについて、海水を入れるの遅かったのではという指摘があったが、海水注入については書いてあったのか。

A：海水を入れるということは書いてあった。消火系を使った海水注入という手法があるということが書いてある。

Q：(共同通信) 注水であふれた水の監視体制行っているのか。モニタリング項目としては、大気と同じ核種分析行うのか。

A：私の理解では、懸命の放水作業行っている段階。流れている水がどうなっているのか監視の体制よく取れていないと思う。プールに納めるので精一杯。海水モニタリングの必要性について気運が出てきた段階なので、詳細は関係者で詰めたい。

Q：(不明 朝日?) 2号機の中総回復で、空調系のチャコールフィルター作業員作業しやすくなるというのは、大気中に出ていく放射性物質を軽減できるのか。それとは直接結びつかないのか。

A：中央制御室の外の大気に含まれる放射性物質を除いてきれいな空気を中に入れる仕組みなので、発電所の外に出るかどうかなどというのとは別の文脈。

Q：(共同通信) 先ほど7人のうち一人が150mSvを超えていたということだが、7人というのは、3号機の負傷した7人のことか、それとも別途7人いるのか。

A：負傷した7名と理解。

Q：(不明) 放射性物質の放出が数日続いている状況において、かなりの外部放出がなくてもレベル6になるのか、避難の関係住民の人体への影響変わってくるのか。

A：避難の話と国際的な評価尺度は別なもの。放射性物質の持続的な排出を食い止めるための取組を行っている。プールが水で満たされない等の状況をなるべく早く収める。放射性物質の量は必ず減ってくると思っている。

このまま垂れ流すようなレベルで出るとは思っていない。

避難範囲については、仮に悪い方向に進んだとしても、現在の20～30kmで十分と考える。

Q：(フジテレビ) 3号機160kPaに低下していることの評価。朝のモニタリングデータと比べて今のデータ下がっていることの評価。

A：3号機格納容器圧力機能高まってベントのことで御心配をおかけした。その後水の注入量を操作して落ち着いている。まだ各種パラメーター動いているところがあるので注意しないといけないが、昨日から事態が悪化しているとは

思われぬ。モニタリングの数字も注視していく。

Q：(TBS [REDACTED]) 通電で本日中に復旧する計器等は原子炉内部も含まれるのか。

A：確認する。

Q：(テレビ朝日) ベント見合わせたというが、昨日茨城県各地東海村ひたちなか水戸市すべて同じ時刻にモニタリング値が急上昇している。このことを知っているか、知っているとしたら原因は何と考えるか。

A：推測が難しいが、これは一定の風向きでもともと排出されていたものが飛んだ可能性ある。ドライベントはやっていない。

Q：(朝日新聞 [REDACTED]) SPEED1公表できない理由は何か。どこかに止められているのか。いつ公表できるのか。

A：どこかに止められていることはない。お示しできる信頼性のあるデータ計算できないと聞いている。

Q：12日の段階で放射線班がSPEED1のデータを示していたが、それ以降信頼できるデータがないということでしょうか。

A：12日に示したものは、数量的な意味はなく、一定の仮定の下でのデータ、どういう時期に同分布するかというもの。現在、どのプラントからどう出ているかというすり合わせを原子力安全委員会とやっている。これにより、皆様にお示しするものができる。

Q：(西日本新聞 [REDACTED]) 避難対象エリア月内に縮小、解除される可能性どれくらいあるのか。

A：そういうことが示されればよいと思うが、一進一退であり、現在やっていることが悪い方に行っているとは思っていないが、申し訳ないが現時点で避難解除を言及する時期にない。

Q：仮に悪い方向に進むとしても、避難範囲を変える必要ないということだったが、「悪い方向」とは再臨界のことか。また、コンクリート車について他社からも申し出があるとのことだが、今のところ三重の企業のみか。

A：20km30kmの話、先般御説明したとおり、交流電源なく主要な閉じ込め損なわれる事象が複数号機で発生しても大丈夫な範囲になっていると認識。民間ポンプ車については、まだ1台目を使う準備をしているところ。2台目以降予定はない。

Q：1台目いつからどの号機に注水するのか。

A：4号機と聞いている。

Q：(ロイター通信 [REDACTED]) 1Fの建材不十分であったと一部報道があったが、事実か、事実なら今回の事故との関係は。

A：確認する。

Q：(毎日新聞) 2号機の電気系統復旧の優先順位は、中総の空調、計器類の順番か。冷却系の回復はどうなっているのか。3号機のサブプレッションプールの圧力はダウンスケールとなっているが、現状どうなっているのか。

A：どちらが先とは聞いていない。人員の範囲でできるだけ早くやる。冷却系は使用済みプール、燃料冷却ともライン引けるように作業しているということだと思う。3号機のプールについては特に有意な変更はない。

Q：(共同通信) 津波の関係想定を超えたと何回か発現されているが、定量的に確かめられたのか。それとも今後確かめうるのか。

A：私の理解は、耐震指針で津波何mと書かれている。実際に届いた高さと比較して、相当高い波が来たということ。

Q：具体的な尺度あるのか。

A：今回、標高14mのところの位置する駐車場を上回る波だったというのが、私的な会話の中で聞いた覚えがある。正確な情報ではない。

Q：事業者との話の中で出たのか。

A：そうではない。イメージを持ってもらうために非公式な会話の情報を披露したまで。

Q：ソースは何か。

A：申し訳ないが記憶していない。

Q：1Fの津波の設計基準は5.4mということでしょうか。

A：確認する。

Q：(産経新聞) 海洋汚染。放出した水がどこを通過して海に流れ込んでいるのか。保安院として調査するべしという問題意識持っているのか。

A：非公式に聞いた限りではあまり流れ込まないだろうと聞いている。可能性は否定できないのでモニタリングという議論になっている。現場は、あまり流れ込まないと思っていると聞いているが未確認。保安院としてはモニタリングやるべきと考えるが、優先順位、まずは最初の燃料の安定状態作り出すため、タイミングも考えながら流れ込むか流れ込まないか見てモニタリング必要と考える。

Q：4号機そばの共用プールの現状、水位、温度等どうなっているか。今後の見通しは。

A：共用プールはほぼ満水。特に問題を感じていない。

Q：(AP通信) アクシデントマネジメント 東電の報告書にはもろもろ書いてあったということだが、作業員の訓練(定常の所内の訓練)、非常時(防災訓練)の訓練手続その他シミュレーションの際の具体的な動きがどれくらい準備できていたのか把握しているか。把握していたらその評価。

A：代替注水のラインを作るということについては、実際功を奏したところで

あり、そういう準備はしていた。従業員の訓練については確認して報告する。

なお、追加情報だが、本日11:36に、5号機6号機所内電源夜の森線から受電を開始したとのこと。

以上。

左

経済産業省	
番号	211P42

プレスレク(3号機黒煙関係)

日時 平成23年3月21日(月) 17:40~17:50

場所 保安院第4特別会議室

対応 西山審議官 吉澤広報班長

(説明)

- ・15:55 3号機建屋から黒煙発生
- ・16:02 煙は黒くなったり灰色になったり。リアクタービル原子炉ある建屋の南側。
- ・原子炉パラメーターには変化ない
- ・モニタリングデータ事務本館北変化なし
  - 15:50 2013マイクロシーベルト/h
  - 16:00 2016
  - 16:10 2013
  - 16:20 2011
  - 16:30 2015
- ・16:09 東京電力は現場作業員退避を指示。
- ・その後、煙は減少しているが、現在出続けている。
- ・4号機のパワーセンターに受電したいということで本日作業を進めていたが、3号機にはまだ電気通じていない。よって電気による漏電火事は考えにくい。特にこの場所で本日作業は行われていない。原因は不明。
- ・保安院としては、煙の原因は何か、燃えやすいものが近くにあったか等事実関係を確認してまいる。

(質疑)

- Q: 4号機にはケーブル引き込み作業終わったのか。  
A: 確認する
- Q: 現在とは何時現在  
A: 17:15時点
- Q: 15:55とは煙が発生した時点か、確認した時点か。  
A: 煙が見つかった時間
- Q: (読売) 現在作業していないというのが直前どんな作業していたのか。  
A: 確認する。
- Q: (読売) 南のリアクタービルには何が置いてあるのか。  
A: リアクタービルの南東の角 使用済みプールの上である。それが煙の原因

かは不明。

Q：(フジテレビ) 作業員は退避指示とあるが、消火あるいは消煙の作業予定あるのか。

A：放射線量等も確認の上、現時点では未確定。

Q：使用済みプールとの関係で類推される原因はなにか。

A：使用済みプールには注水しようとしていた。相当量の海水が注ぎ込まれた。それが原因で発煙するとは考えにくい。

Q：共同通信( ) 煙以外の音等確認されていないか。

A：聞いたという人はいない。

Q：(?) 煙が出ている箇所は何階かわかるか。けが人はいるか。

A：けが人は確認されていない。階はわからない。

Q：(毎日新聞) 退避したのは3号機の作業員のみか。他の作業には影響ないか。

A：東電からのレポートでは3号機付近の作業員を退避させたということ。

Q：朝日( ) 退避人数は分かるか。使用済み燃料プールの損傷は考えにくい。

A：人数はわからない。使用済みプールの異常とは現状考えにくい。

Q：共同通信( ) どこに退避か情報あるか。

A：今わからない。

左

〇 伊リイザノ ← ERC 医療班 〇

スクリーニングの状況

原子力安全・保安院

情報入手日時	検査人数	線量等	人数内訳	処置不要人数	除染処置人数	病院搬送人数	病院名	備考 (属性等)
3月16日 11:00時点 での累計	162	6,000cpm未満	110	112	39	0	太田西ノ内病院 (3) 県立医大(1) 放医研(1)	住民(28) 警隊(2) 原発関係者(64) その他の民間企業(54) 自衛隊(3)
		6,000cpm以上	41					
		*)測定中線量値を算出						
		13,000cpm未満	8					
3月16日 20:00時点 での追加	集計中	13,000cpm以上 100,000cpm未満	2	6	5	5		原発関係者(4) 自衛隊(4) その他の民間企業(3)
		100,000cpm以上	1					
3月17日 8:00時点 での追加	集計中							
		100,000cpm未満	18629	不明	不明	不明	不明	福島県で集計中の情報(未公開情報)検査人数と線量等の人数内訳が含まれないのは、一部線量等の情報がなかったため。
3月17日 20:00時点 での追加	19548	100,000cpm以上	60					本日行われる県の対策本会議に向けて保健所等に中間い合わせて集計作業中。その後1日1回の更新ができる予定。
3月18日 8:00時点 での追加	集計中							

情報入手日時	検査人数	線量等	人数内訳	処置不要人数	除染処置人数	病院搬送人数	病院名	備考（属性等）
3月18日 20:00時点 での追加	42440	13,000cpm未満	30143	-	-	-	-	3月17日 20:00時点の実績が精査され、さらに追加もされたため、当該実績を基本にし、追加して発表とすることとする。アセスメントで取扱注意でお願いたします。人数の計が含まないのは実績が不明の箇所があるため。 100,000cpm以上が検出された者は、除染後の再検査では異常は見られなかった。
		13,000cpm以上 100,000cpm未満	1409					
		100,000cpm以上	56					
3月19日 8:00時点 での追加	集計中							福島県が1日1回程度の更新となるため追加の情報なし。（県は現時点で未公表）
3月19日 20:00時点 での追加	集計中							福島県が1日1回程度の更新となるため追加の情報なし。（県は現時点で未公表）
		13,000cpm未満	33370					
		13,000cpm以上 100,000cpm未満	535					
3月20日 8:00時点 での追加	56776	100,000cpm以上	95					3月18日 20:00時点の実績が精査され、さらに追加もされたため、当該実績を基本とする。アセスメントで取扱注意でお願いたします。人数の計が含まないのは実績が不明の箇所があるため。 100,000cpm以上が検出された者は、除染後の再検査では異常は見られなかった。

情報入手日時	検査人数	線量等	人数内訳	処置不要人数	除染処置人数	病院搬送人数	病院名	備考（属性等）		
3月20日 20:00時点 での追加	集計中							福島県が1日1回程度 の更新となるため追加 情報なし。（県は現時 点で未公表）		
									13,000cpm未満	9994
									13,000cpm以上 100,000cpm未満	63
3月21日 8:00時点 での追加	10058							3/20 8:00時点からの追 加情報。引き続き未公表 情報となっているため、取 扱注意。		
									100,000cpm以上	1
									13,000cpm未満	5775
3月21日 20:00時点 での追加	5818							3/21 8:00時点からの追 加情報。引き続き未公表 情報となっているため、取 扱注意。		
									13,000cpm以上 100,000cpm未満	43
									100,000cpm以上	0

共有 ← EPC広報班

左

保安院

プレスレク概要  
(第39報)

経済産業省	
番号	211937

日時：平成23年3月21日(月) 18:55～19:15

場所：保安院第4特別会議室

対応：西山審議官

リ  
エ  
ン  
ス  
モ  
ン  
ト  
日  
時

(説明)

<2号機の白煙>

- ・18:22 ブローアウトパネル白煙とは別のところから白い煙が出ているということがわかった。山側の屋根の隙間から白い煙が噴出しているのではないかという情報。

<3号機の黒煙>

- ・18:02 東電から広域消防に煙が収まったと連絡。消防から了解を得たとのこと。原因については究明が必要。
- ・作業として、タービンの建屋内で機器の健全性が確認されていた。煙の出た原子炉の建屋とは別の建物。原子炉の建屋では作業は行っていない。
- ・受電はしていない。
- ・原因究明をする。

<放水>

- ・本日16～19時の間の1時間、東京消防庁が3号機に放水の予定であったが、黒煙の関係で、現在Jビレッジにて待機している状況。
- ・自衛隊、本日早朝に4号機に放水。4号機については、予定としては、17～19時、コンクリ車両による通水試験実施予定だったが、同じく黒煙のため本日は見送り。

<電源確保>

- ・2号機パワーセンターから関係の機器に接続。機器の健全性確認しながら実施。現在3号機黒煙の件で退避の対象となっており目的達成されていない。
- ・3、4号機 本日15時頃4号機のパワーセンターまでケーブル接続完了。4号機の敷設したケーブルの受電の確認は完了しなかった。
- ・今後4号機のパワーセンターから各機器にケーブルを接続。
- ・5、6号機の電源、高圧線の夜の森線からの引き込み非常用ディーゼルから切り替えを本日11:36に行った。

(質疑)

Q : (TBS [REDACTED]) きりかえできたのは5号機6号機共にか。

A : 5号機のみ。6号機はまだ非常用ディーゼルを用いている。

Q : (共同通信 [REDACTED]) 2号機、水蒸気でないか等見立てはあるか。

A : 現時点では白い煙としか分かっていない。

Q : (毎日新聞 [REDACTED]) 2号機の白煙は、使用済み燃料プールからのものと考えられるか。

A : 可能性としては否定できないが、現時点でそれ以上分からない。

Q : ( ? ) 2号機サプレッションプールの破損と聞いていたが、他にも破損箇所あるのか。3号機黒煙上がったことでどれくらい作業遅れたのか。

A : 2号機白煙屋根の隙間からということで大規模に破壊された穴とは思われない。よって状況がそれほど変わっているとは思われない。3号機煙は収まったので、安全性確認、線量変化なければ、1日以内の遅れで何溶けいけると思う。

Q : (フジテレビ [REDACTED]) 2号機煙が出た際爆発音あったのか。類推される原因はあるか。

A : 煙が出た時に爆発音を聞いたという情報ない。類推される原因わからない。

Q : (NHK [REDACTED]) 線量モニタリング 16:42から16:50になって急激に下がっているが、16:42の時点で爆発で上がっていたということは考えられるか。

A : 線量があがるような爆発の事象というものは思い至らない。

Q : 急激な低下の原因は。

A : 現時点ではわからない。

次の予定のため今回はここで終了。

以上。

左

(表) 宮野 ← 各々 医療班 スクリーニングの状況

原子力安全・保安院

情報入手日時	検査人数	線量等	人数内訳	処置不要人数	除染処置人数	病院搬送人数	病院名	備考(属性等)
3月16日 11:00時点 での累計	162	6,000cpm未満	110	112	39	0		住民(28) 警察(2) 原発関係者(64) その他の民間企業(54) 自衛隊(3)
		6,000cpm以上	41					
		*)測定値及び取値を変更						
3月16日 20:00時点 での追加	集計中	13,000cpm未満	8	6	5	5	本田西ノ内病院 (3) 県立医大(1) 放医研(1)	原発関係者(4) 自衛隊(4) その他の民間企業 (3)
		13,000cpm以上	2					
		100,000cpm未満	1					
3月17日 8:00時点 での追加	集計中							県において、被ばく者 情報の取りまとめが選 れている。
3月17日 20:00時点 での追加	19548	100,000cpm未満	18629	不明	不明	不明	不明	福島県で集計中の情報 (未公開情報)検査人数と 線量等の人数内訳が合 わないのは、一部線量等 の情報がないため。
		100,000cpm以上	60					
3月18日 8:00時点 での追加	集計中							本が行われる県の対策 会議に向けて保健所等 に問い合わせ集計作業 中。その後は1日1回 の更新ができる予定。

リヨン → 在りし  
幹. 2F

220911

経済産業省  
番号 220911

情報入手日時	検査人数	線量等	人数内訳	処置不要人数	除染処置人数	病院搬送人数	病院名	備考（属性等）
3月18日	20:00時点での追加	13,000cpm未満	30143	-	-	-	-	3月17日 20:00時点の実績が精査され、さらに追加もされたため、当該実績を基本にし、追加していくこととする。プレス発表とのことで取扱注意をお願いいたします。人数と線量ごとの実績計が合わないのは実績計が不明の箇所があるため。
		13,000cpm以上 100,000cpm未満	1409					
		100,000cpm以上	56					
3月19日	8:00時点での追加							福島県が1日1回程度での更新となるため追加情報なし。（県は現時点で未公表）
3月19日	20:00時点での追加							福島県が1日1回程度での更新となるため追加情報なし。（県は現時点で未公表）
3月20日	8:00時点での追加	13,000cpm未満	33370	-	-	-	-	3月18日 20:00時点の実績が精査され、さらに追加もされた。一部修正があったため、当該実績を基本とする。プレス発表とのことで取扱注意をお願いいたします。人数と線量ごとの実績計が合わないのは実績計が不明の箇所があるため。
		13,000cpm以上 100,000cpm未満	535					
		100,000cpm以上	95					

情報入手日時	検査人数	線量等	人数内訳	処置不要人数	除染処置人数	病院搬送人数	病院名	備考 (属性等)
3月20日	20:00時点での追加	集計中						福島県が1日1回程度の更新となるため追加情報なし。(県は現時点で未公表)
3月21日	8:00時点での追加	10058	13,000cpm未満	9994	-	-	-	3/20 8:00時点からの追加情報。引き続き未公表情報となっているため、取扱注意。
			13,000cpm以上 100,000cpm未満	63				
			100,000cpm以上	1				
3月21日	20:00時点での追加	5818	13,000cpm未満	5775	-	-	-	3/21 8:00時点からの追加情報。引き続き未公表情報となっているため、取扱注意。
			13,000cpm以上 100,000cpm未満	43				
			100,000cpm以上	0				
3月22日	8:00時点での追加		13,000cpm未満		-	-	-	21日20時から変更ありません。
			13,000cpm以上 100,000cpm未満					
			100,000cpm以上					

左 ※ 保安院記者会見メモ

## プレスレク概要

(第41報)

日時：平成23年3月22日(火) 10:22~11:00

場所：保安院第4特別会議室

対応：西山審議官

### 【説明】

#### [海水サンプリング]

- ・東京電力より、3月21日の14:30に福島第一原子力発電所1~4号機放水口から南に約100mの地点で採取した結果について、昨日21:40に報告があった。
- ・検出核種のうち、線量告示における周辺区域外の廃液中の濃度基準を超えたのは、ヨウ素131、セシウム134及びセシウム137。
- ・濃度基準は超えているものの、現状、20km圏内においては避難措置を取っているところであり、当該海洋域の現在の利用状況に鑑み直ちに人体の健康への問題とはならないと考えられる。
- ・本調査結果は、現在、原子力安全委員会の評価を求めているところ。サンプル地点が1か所で適切な評価を下すには至らない可能性もあるため、本日、文科省が海洋モニタリング調査を開始することとなっているほか、東京電力においても引き続き調査を実施する予定。

#### [発電所の状況]

- ・現在、東京電力を指導しながら実施している作業だが、原子炉については引き続き1~3号機に海水を注入する作業を続けている。
- ・使用済み燃料プールについては、放水によって外からの注水を実施。本日は、これまでの放水作業を継続することになるが、作業内容は昼頃判断の上、3号機は東京都ハイパーレスキュー隊の放水を1時間実施できるか検討。4号機は東京電力社員の運営するコンクリートポンプ車での放水を実施するかどうか決定。何らかの理由でできない場合は、自衛隊に依頼して高圧ポンプ放水車を使う可能性もある。

#### [昨日までの質問]

- ・1号機への使用済み燃料プール冷却の手立てについては、放水による冷却や、2号機のように冷却システムへのつなぎ込みも検討しているが、貯蔵燃料が少なく4号機に比べると崩壊熱量が少ないため、注視しつつ他号機を優先している。

#### [電源の復旧作業]

- ・1、2号機は、2号機のパワーセンターまで電気が通じていることが確認され